

# 四半期報告書

(第34期第3四半期)

自 平成25年7月1日

至 平成25年9月30日

株式会社ソルクシーズ

# 目 次

頁

表 紙

## 第一部 企業情報

### 第1 企業の概況

- 1 主要な経営指標等の推移 ..... 1
- 2 事業の内容 ..... 1

### 第2 事業の状況

- 1 事業等のリスク ..... 2
- 2 経営上の重要な契約等 ..... 2
- 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 ..... 2

### 第3 提出会社の状況

#### 1 株式等の状況

- (1) 株式の総数等 ..... 3
- (2) 新株予約権等の状況 ..... 3
- (3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 ..... 3
- (4) ライツプランの内容 ..... 3
- (5) 発行済株式総数、資本金等の推移 ..... 3
- (6) 大株主の状況 ..... 3
- (7) 議決権の状況 ..... 4

#### 2 役員の状況 ..... 4

### 第4 経理の状況

#### 1 四半期連結財務諸表

- (1) 四半期連結貸借対照表 ..... 6
- (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ..... 8
  - 四半期連結損益計算書 ..... 8
  - 四半期連結包括利益計算書 ..... 9

#### 2 その他 ..... 13

## 第二部 提出会社の保証会社等の情報 ..... 13

[四半期レビュー報告書]

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月14日
【四半期会計期間】	第34期第3四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社ソルクシーズ
【英訳名】	SOLXYZ Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 長尾 章
【本店の所在の場所】	東京都港区芝五丁目33番7号
【電話番号】	03-6722-5011
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 渡辺 源記
【最寄りの連絡場所】	東京都港区芝五丁目33番7号
【電話番号】	03-6722-5011
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 渡辺 源記
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第33期 第3四半期連結 累計期間	第34期 第3四半期連結 累計期間	第33期
会計期間	自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年1月1日 至 平成24年12月31日
売上高（千円）	6,273,792	6,964,261	8,570,002
経常利益（千円）	158,806	291,713	325,020
四半期（当期）純利益（千円）	66,006	171,985	184,041
四半期包括利益又は包括利益 （千円）	70,036	194,042	197,592
純資産額（千円）	2,154,168	2,423,382	2,283,542
総資産額（千円）	6,370,622	6,568,404	6,444,157
1株当たり四半期（当期）純利益 金額（円）	6.16	16.04	17.17
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	-	-	-
自己資本比率（％）	33.6	36.6	35.2

回次	第33期 第3四半期連結 会計期間	第34期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 （円）	3.43	0.51

- （注）1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第33期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び第33期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。また第34期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は発生しておりません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府・日銀によるデフレ脱却に向けた金融財政政策及び新たな成長戦略施策により緩やかな回復軌道を辿っており、国内IT投資についても、金融業における投資計画の再開やICTインフラへの投資増など、回復の動きが出ています。

このような環境の中、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期比11.0%増の6,964百万円となりました。

セグメント別では、主業務であるソフトウェア開発事業の売上高は、クレジット、生損保、銀行などの金融業向けソフトウェア開発が大幅増収となったほか、大手自動車メーカー向けコンサルティング業務等においても増収となり、同10.1%増の6,590百万円となりました。また、東日本を基盤とするデジタルサイネージ事業の売上高は、同30.9%増の374百万円となりました。

損益面を見ますと、売上総利益は、上記ソフトウェア開発事業の大幅増収により、同3.1%増の1,339百万円となりました。

販売費及び一般管理費は、各方面に亘る経費圧縮努力により同3.6%減の1,108百万円となり、営業利益は同54.4%増の230百万円、経常利益は営業外収益としてデリバティブ評価益を計上した結果、同83.7%増の291百万円となりました。

固定資産除去損等の特別損失1百万円、法人税等116百万円を控除した四半期純利益は、同160.6%増の171百万円となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、ソフトウェアの増加や時価評価による投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べ1.9%増加し、6,568百万円となりました。

負債は、季節要因による買掛金及び未払費用の減少並びに賞与引当金の増加等の要因により、前連結会計年度末に比べ0.4%減少し、4,145百万円となりました。

純資産は、四半期純利益による利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ6.1%増加し、2,423百万円となりました。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

#### (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### ①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	19,600,000
計	19,600,000

###### ②【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	13,410,297	13,410,297	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100 株であります。
計	13,410,297	13,410,297	—	—

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	13,410,297	-	1,494,500	-	451,280

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年6月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	（自己保有株式） 普通株式 2,689,900	—	—
完全議決権株式（その他）	普通株式 10,650,700	106,507	—
単元未満株式	普通株式 69,697	—	—
発行済株式総数	13,410,297	—	—
総株主の議決権	—	106,507	—

② 【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
株式会社ソルクシーズ	東京都港区芝5—33—7	2,689,900	—	2,689,900	20.06
計	—	2,689,900	—	2,689,900	20.06

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年1月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,521,790	1,174,334
受取手形及び売掛金	1,398,630	1,486,614
有価証券	530,860	481,062
商品及び製品	27,200	45,663
仕掛品	255,046	323,719
原材料及び貯蔵品	3,569	3,031
その他	137,894	158,443
貸倒引当金	△5,481	△563
流動資産合計	3,869,511	3,672,305
固定資産		
有形固定資産	616,750	569,159
無形固定資産		
ソフトウェア	547,178	700,989
のれん	13,666	7,385
その他	2,118	2,070
無形固定資産合計	562,963	710,444
投資その他の資産		
投資有価証券	697,303	898,101
繰延税金資産	378,999	398,720
その他	316,240	318,561
貸倒引当金	△1,440	△990
投資その他の資産合計	1,391,103	1,614,393
固定資産合計	2,570,816	2,893,997
繰延資産	3,829	2,100
資産合計	6,444,157	6,568,404

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	479,977	434,325
短期借入金	642,000	791,800
1年内償還予定の社債	260,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	399,200	540,000
未払法人税等	147,138	86,808
賞与引当金	—	150,766
その他	497,276	414,518
流動負債合計	2,425,592	2,468,218
固定負債		
社債	70,000	20,000
長期借入金	467,800	415,100
退職給付引当金	1,030,752	1,088,903
役員退職慰労引当金	131,466	127,798
その他	35,002	25,001
固定負債合計	1,735,021	1,676,803
負債合計	4,160,614	4,145,021
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,494,500	1,494,500
資本剰余金	1,468,229	1,468,229
利益剰余金	288,299	406,681
自己株式	△1,002,520	△1,002,627
株主資本合計	2,248,507	2,366,783
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,787	18,366
為替換算調整勘定	8,735	18,823
その他の包括利益累計額合計	17,522	37,189
少数株主持分	17,512	19,408
純資産合計	2,283,542	2,423,382
負債純資産合計	6,444,157	6,568,404

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	6,273,792	6,964,261
売上原価	4,974,259	5,625,051
売上総利益	1,299,532	1,339,209
販売費及び一般管理費		
役員報酬	237,579	220,064
給料	375,983	345,731
賞与	19,176	33,825
賞与引当金繰入額	10,932	18,144
役員退職慰労引当金繰入額	16,094	13,994
退職給付費用	25,551	24,302
法定福利費	66,597	66,331
地代家賃	79,437	71,938
支払手数料	68,779	66,341
のれん償却額	6,280	6,280
その他	243,934	241,862
販売費及び一般管理費合計	1,150,348	1,108,818
営業利益	149,184	230,390
営業外収益		
受取利息	3,416	10,253
受取配当金	3,326	2,913
デリバティブ評価益	13,525	62,390
投資事業組合運用益	—	1,881
負ののれん償却額	—	116
その他	13,240	9,926
営業外収益合計	33,509	87,480
営業外費用		
支払利息	15,635	15,174
投資事業組合運用損	3,258	—
為替差損	529	8,324
その他	4,463	2,659
営業外費用合計	23,886	26,158
経常利益	158,806	291,713
特別損失		
固定資産除却損	674	1,050
固定資産売却損	—	403
投資有価証券評価損	5,309	—
ゴルフ会員権評価損	1,674	—
特別損失合計	7,658	1,453
税金等調整前四半期純利益	151,148	290,260
法人税、住民税及び事業税	128,848	166,531
法人税等調整額	△41,574	△50,226
法人税等合計	87,274	116,305
少数株主損益調整前四半期純利益	63,874	173,954
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2,132	1,969
四半期純利益	66,006	171,985

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	63,874	173,954
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,093	9,578
為替換算調整勘定	68	10,508
その他の包括利益合計	6,162	20,087
四半期包括利益	70,036	194,042
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	72,162	191,652
少数株主に係る四半期包括利益	△2,125	2,389

**【会計方針の変更等】**

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、従来の方法と比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に対する影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
減価償却費	117,003千円	148,940千円
のれんの償却額	6,280千円	6,280千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日）

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年3月29日 定時株主総会	普通株式	26,803	2.5	平成23年12月31日	平成24年3月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日）

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年3月28日 定時株主総会	普通株式	53,602	5.0	平成24年12月31日	平成25年3月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	ソフトウェア 開発事業	デジタルサイネ ージ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,987,846	285,946	6,273,792	—	6,273,792
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,987,846	285,946	6,273,792	—	6,273,792
セグメント利益又は損失(△)	199,387	△50,203	149,184	—	149,184

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ソフトウェア 開発事業	デジタルサイネ ージ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,590,056	374,204	6,964,261	—	6,964,261
セグメント間の内部売上高又は振替高	153	—	153	△153	—
計	6,590,209	374,204	6,964,414	△153	6,964,261
セグメント利益又は損失(△)	271,534	△41,297	230,237	153	230,390

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去153千円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
1 株当たり四半期純利益金額	6円16銭	16円4銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (千円)	66,006	171,985
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	66,006	171,985
普通株式の期中平均株式数 (株)	10,720,995	10,720,405
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月14日

株式会社ソルクシーズ

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 毛利 篤 雄 印  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 寶 野 裕 昭 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ソルクシーズの平成25年1月1日から平成25年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年1月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

## 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ソルクシーズ及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。